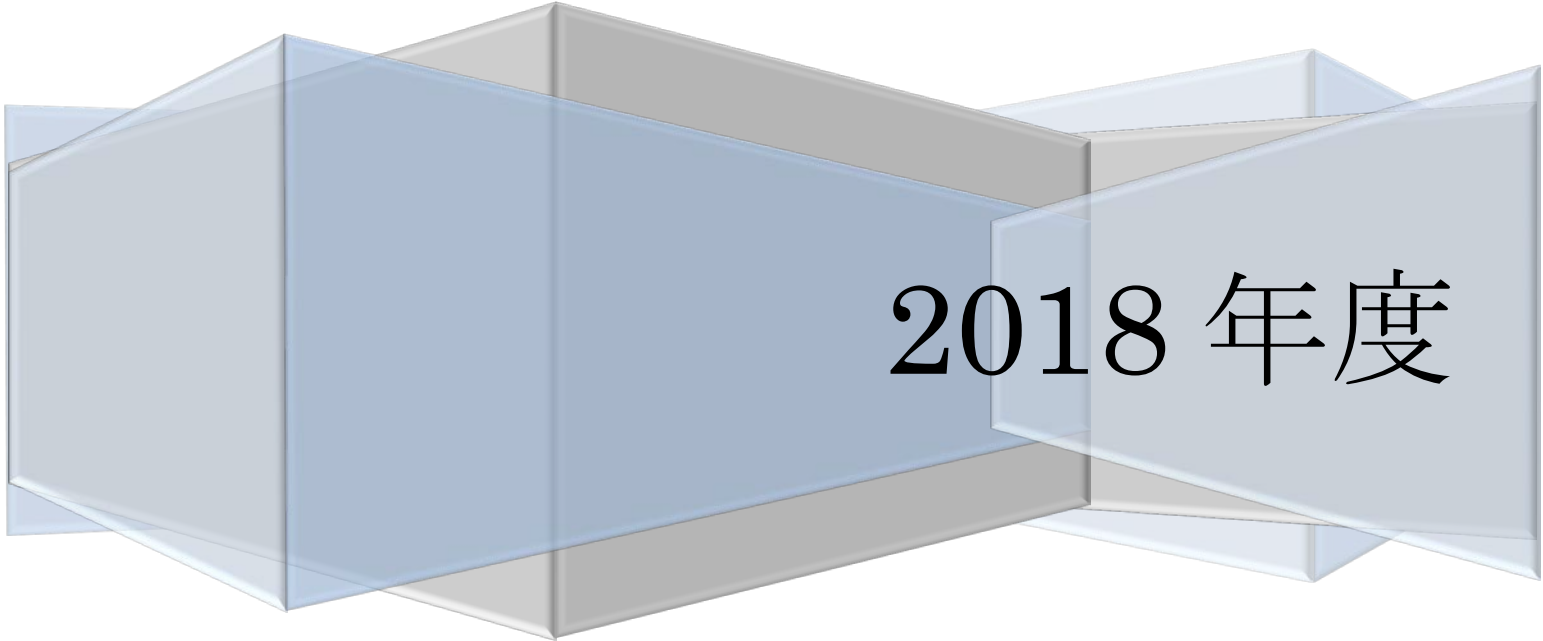


医療法人 高幡会 大西病院

日本慢性期医療協会統計



2018 年度

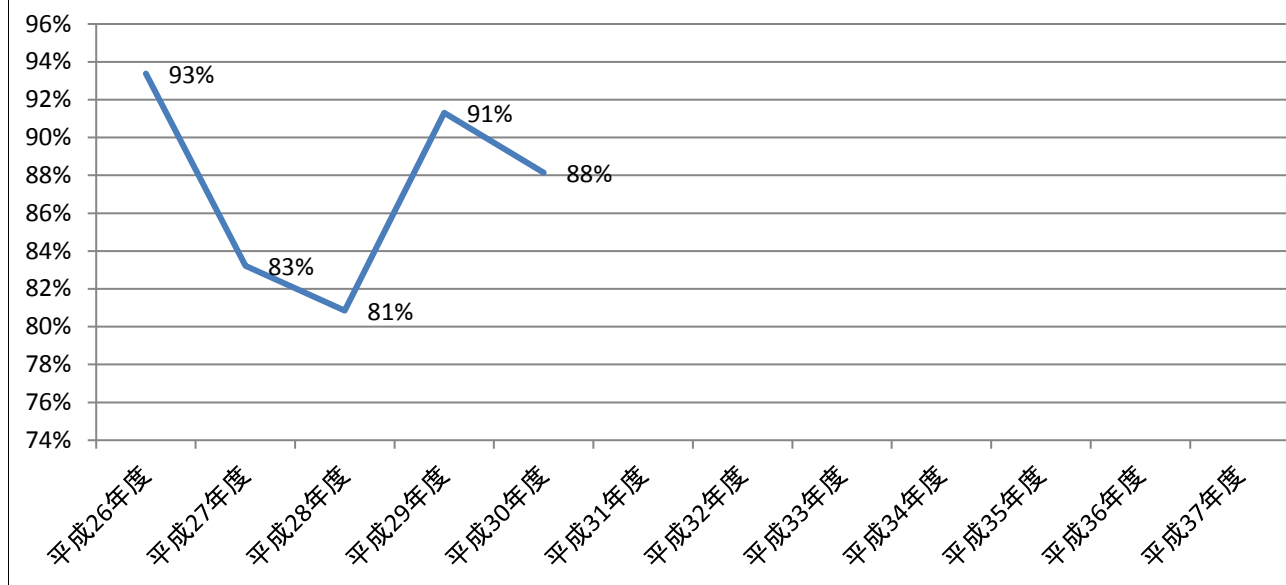
日本慢性期医療協会
慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

職員のインフルエンザワクチンの接種率

$$\text{ワクチン接種率} = \frac{\text{C(自院内にてインフルエンザワクチンを接種した職員数)}}{\text{B(ワクチン接種最終日の職員数)}} \times 100$$

年度	ワクチン接種最終日の職員数(人)	自院内にてインフルエンザワクチンを接種した職員数(人)	職員のインフルエンザワクチンの接種率(%)
平成26年度	151	141	93%
平成27年度	149	124	83%
平成28年度	141	114	81%
平成29年度	138	126	91%
平成30年度	135	119	88%
平成31年度			
平成32年度			
平成33年度			
平成34年度			
平成35年度			
平成36年度			
平成37年度			
合計/平均	714	624	87%

職員のインフルエンザワクチンの接種率(%)



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

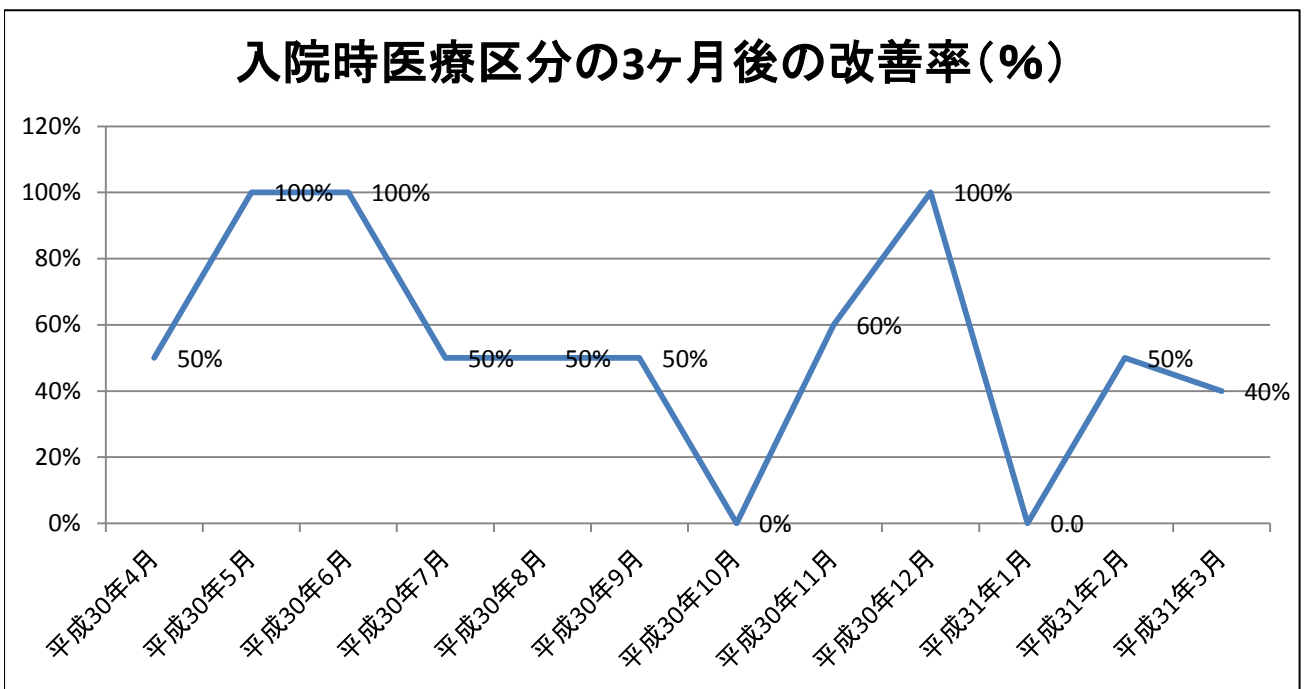
2-1-1

入院時医療区分の3ヶ月後の改善率 （算定期間に限りのない区分の患者は除く）

入院時医療区分の3ヶ月後の改善率 = C(医療区分の改善した患者数)

/ B(医療区分の変化(改善+悪化)患者数) × 100

平成30年度	医療区分の変化した(改善+悪化)患者数(人)	医療区分の改善した患者数(人)	入院時医療区分の3ヶ月後の改善率(%)
平成30年4月	2	1	50%
平成30年5月	1	1	100%
平成30年6月	3	3	100%
平成30年7月	2	1	50%
平成30年8月	6	3	50%
平成30年9月	2	1	50%
平成30年10月	2	0	0%
平成30年11月	5	3	60%
平成30年12月	4	4	100%
平成31年1月	0	0	-
平成31年2月	2	1	50%
平成31年3月	5	2	40%
合計/平均	34	20	59%



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-1-2

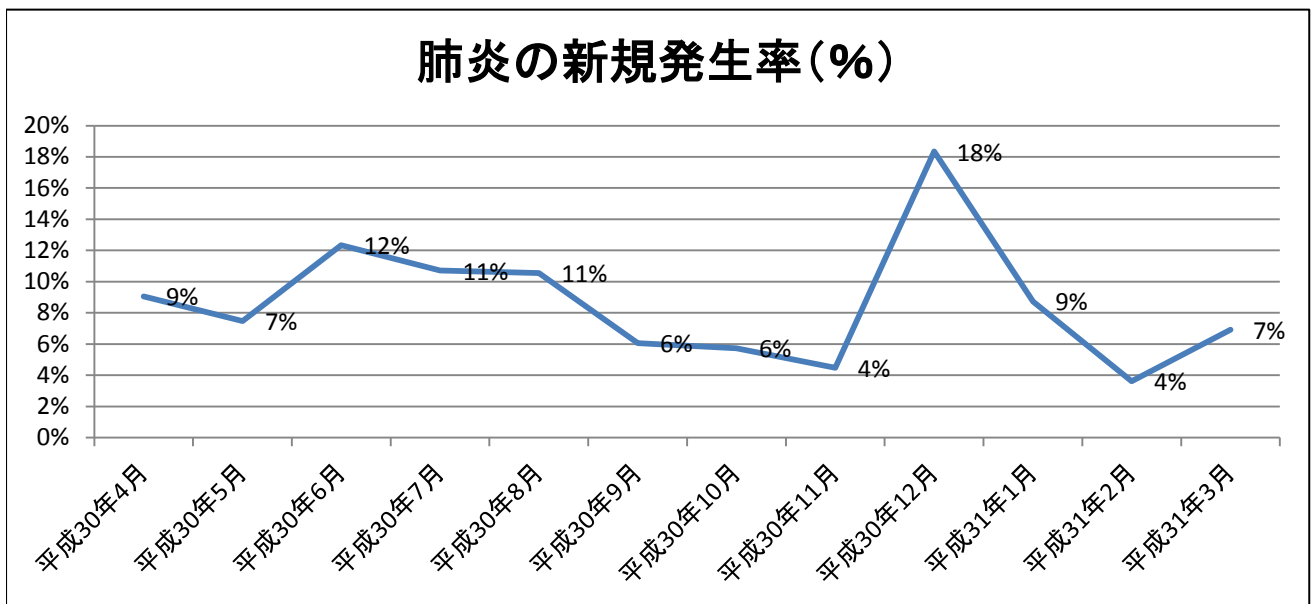
肺炎の新規発生率

（肺炎治療目的の入院は除く。初発・再発は問わない）

肺炎の新規発生率＝C（1ヶ月あたりの肺炎新規発生患者数）

/B（1日あたりの平均入院患者数）× 100

平成30年度	1日あたりの平均入院患者数（人） （医療）	1ヶ月あたりの肺炎新規発生患者数（人）	肺炎の新規発生率（%）
平成30年4月	66	6	9%
平成30年5月	67	5	7%
平成30年6月	65	8	12%
平成30年7月	65	7	11%
平成30年8月	66	7	11%
平成30年9月	66	4	6%
平成30年10月	70	4	6%
平成30年11月	67	3	4%
平成30年12月	71	13	18%
平成31年1月	69	6	9%
平成31年2月	55	2	4%
平成31年3月	58	4	7%
合計/平均	785	69	9%



日本慢性期医療協会

慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

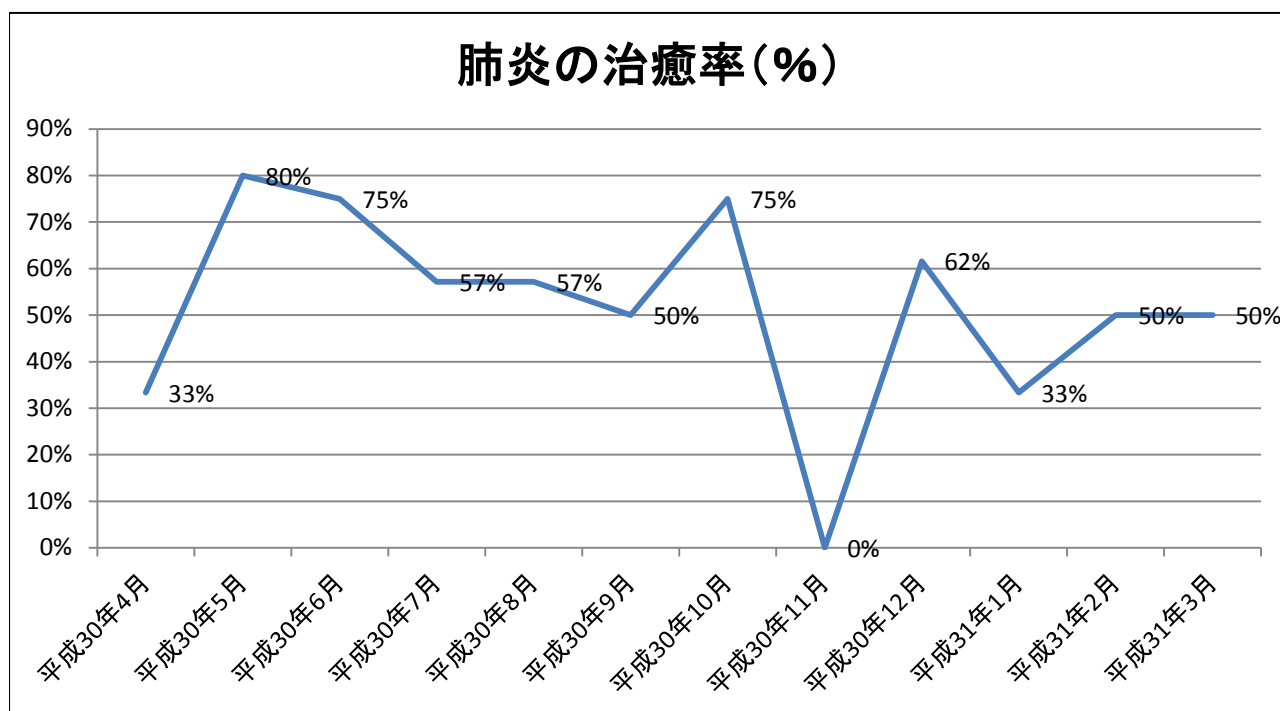
【注】

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-1-3 肺炎の治癒率

肺炎の治癒率 = C（1ヶ月あたりの肺炎の治癒が確認された患者数）
 / B（1ヶ月あたりの肺炎の治療を実施した患者数） × 100

平成30年度	1ヶ月あたりの肺炎の治療を実施した患者数(人)	1ヶ月あたりの肺炎の治癒が確認された患者数	肺炎の治癒率(%)
平成30年4月	6	2	33%
平成30年5月	5	4	80%
平成30年6月	8	6	75%
平成30年7月	7	4	57%
平成30年8月	7	4	57%
平成30年9月	4	2	50%
平成30年10月	4	3	75%
平成30年11月	3	0	0%
平成30年12月	13	8	62%
平成31年1月	6	2	33%
平成31年2月	2	1	50%
平成31年3月	4	2	50%
合計/平均	69	38	55%



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

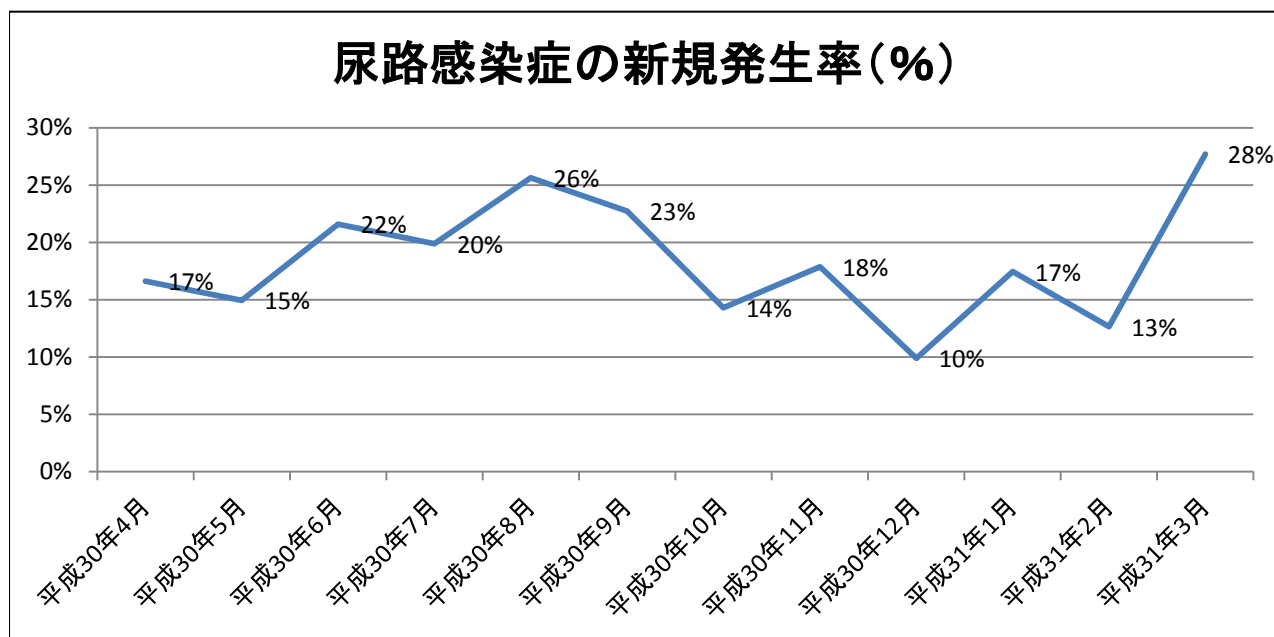
2-1-4

尿路感染症の新規発生率

（尿路感染症治療目的の入院は除く。初発・再発は問わない）

尿路感染症の新規発生率 = C（1ヶ月あたりの尿路感染症新規発生患者数）
/ B（1日あたりの平均入院患者数） × 100

平成30年度	1日あたりの平均入院患者数(人) (医療)	1ヶ月あたりの尿路感染症新規発生患者数(人)	尿路感染症の新規発生率(%)
平成30年4月	66	11	17%
平成30年5月	67	10	15%
平成30年6月	65	14	22%
平成30年7月	65	13	20%
平成30年8月	66	17	26%
平成30年9月	66	15	23%
平成30年10月	70	10	14%
平成30年11月	67	12	18%
平成30年12月	71	7	10%
平成31年1月	69	12	17%
平成31年2月	55	7	13%
平成31年3月	58	16	28%
合計/平均	785	144	18%



日本慢性期医療協会

慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

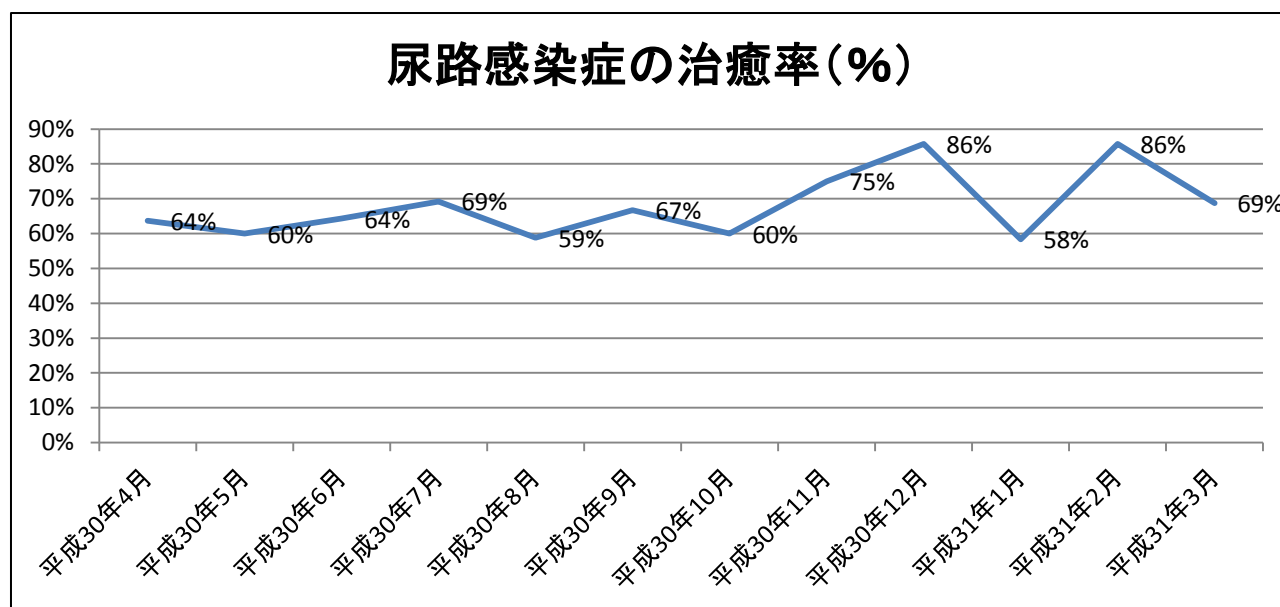
1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-1-5

尿路感染症の治癒率

尿路感染症の治癒率 = C (尿路感染症の治癒が確認された患者数) / B (尿路感染症の治療を実施した患者数) × 100

平成30年度	尿路感染症の治療を実施した患者数(人)	尿路感染症の治癒が確認された患者数(人)	尿路感染症の治癒率 (%)
平成30年4月	11	7	64%
平成30年5月	10	6	60%
平成30年6月	14	9	64%
平成30年7月	13	9	69%
平成30年8月	17	10	59%
平成30年9月	15	10	67%
平成30年10月	10	6	60%
平成30年11月	12	9	75%
平成30年12月	7	6	86%
平成31年1月	12	7	58%
平成31年2月	7	6	86%
平成31年3月	16	11	69%
合計/平均	144	96	67%



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

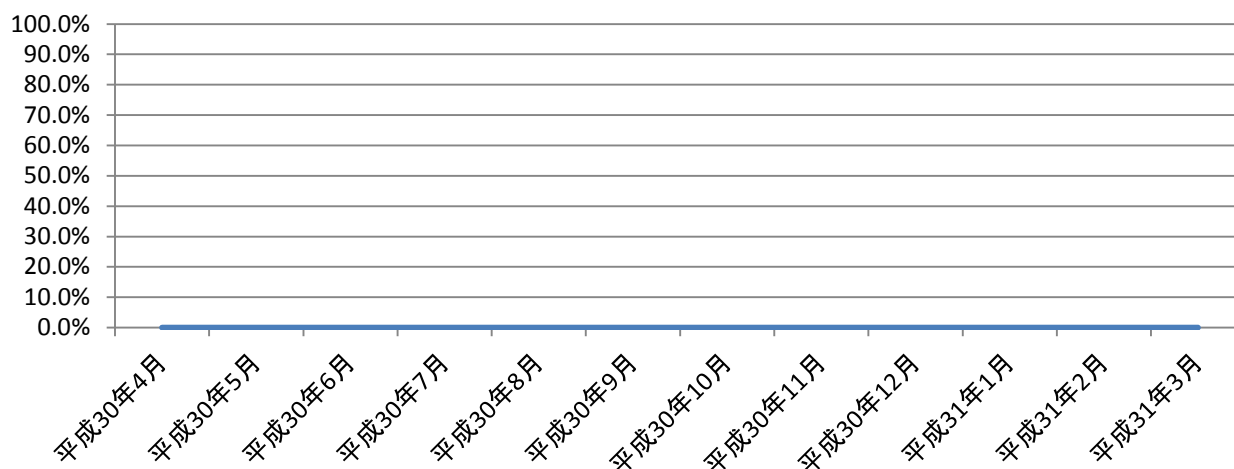
2-1-6

入院時、尿道カテーテルが留置されている患者1ヶ月後の抜去率

$$\text{尿カテ1ヶ月後抜去率} = \frac{C(\text{1ヶ月後に尿道カテーテルが抜去されている患者数})}{B(\text{入院時尿道カテーテルが留置されていた患者数})} \times 100$$

平成30年度	入院時尿道カテーテルが留置されていた患者数(人)	1ヶ月後に尿道カテーテルが抜去されている患者数(人)	入院時、尿道カテーテルが留置されている患者の1ヶ月後の抜去率(%)
平成30年4月	0	0	-
平成30年5月	0	0	-
平成30年6月	0	0	-
平成30年7月	0	0	-
平成30年8月	1	0	0%
平成30年9月	1	0	0%
平成30年10月	0	0	-
平成30年11月	0	0	-
平成30年12月	1	0	0%
平成31年1月	1	0	0%
平成31年2月	0	0	-
平成31年3月	0	0	-
合計/平均	4	0	0%

入院時、尿道カテーテルが留置されている患者の 1ヶ月後の抜去率(%)



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator (病棟臨床指標)

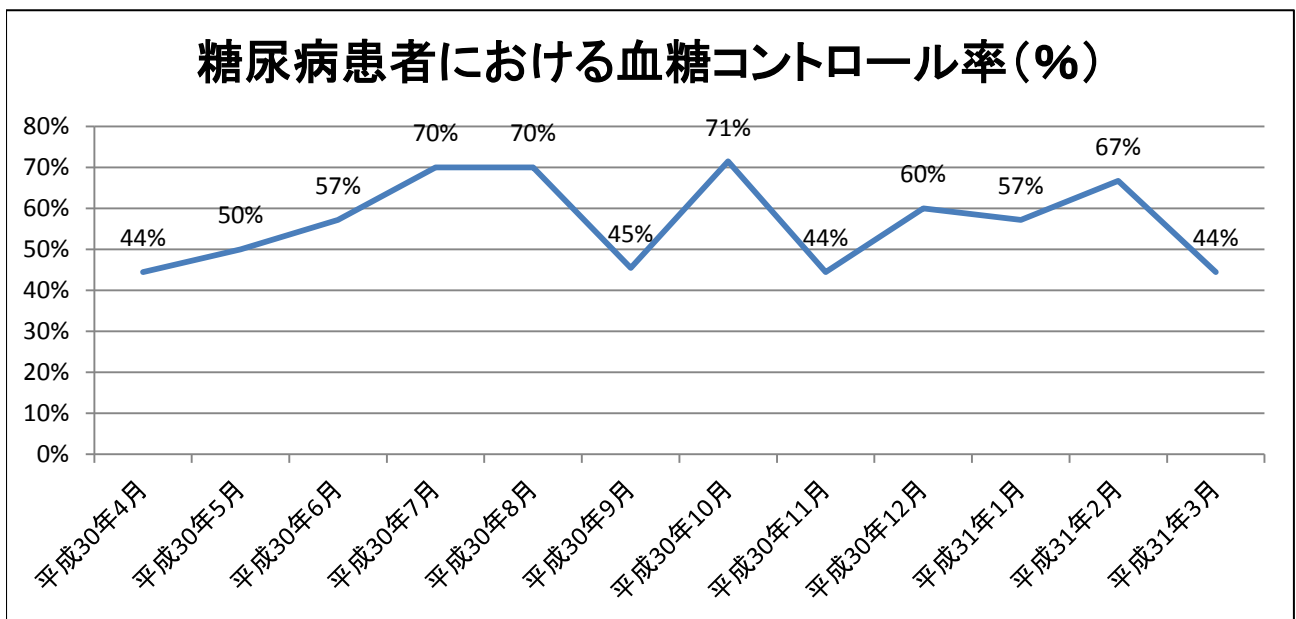
【注】

1. 評価期間中に退院(転棟、死亡含む)した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0(ゼロ)」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-1-8 糖尿病患者における血糖コントロール(HbA1c)

血糖コントロール率 = C (HbA1cのコントロール目標が達成されている患者数) / B (インスリン製剤または経口血糖降下剤を処方されている患者数) × 100

平成30年度	インスリン製剤または経口血糖降下剤を処方されている患者数(人)	HbA1cのコントロール目標が達成されている患者数(人)	糖尿病患者における血糖コントロール率(%)
平成30年4月	9	4	44%
平成30年5月	8	4	50%
平成30年6月	7	4	57%
平成30年7月	10	7	70%
平成30年8月	10	7	70%
平成30年9月	11	5	45%
平成30年10月	14	10	71%
平成30年11月	9	4	44%
平成30年12月	10	6	60%
平成31年1月	7	4	57%
平成31年2月	9	6	67%
平成31年3月	9	4	44%
合計/平均	113	65	57%



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

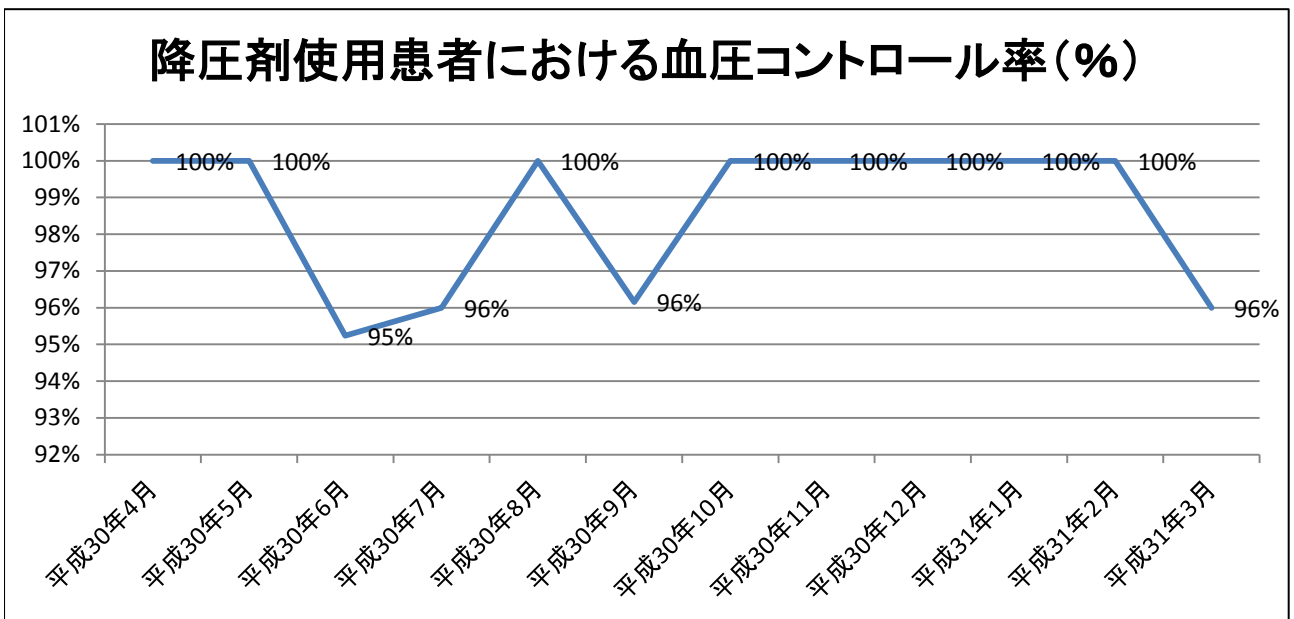
【注】

1. 評価期間中に退院(転棟、死亡含む)した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0(ゼロ)」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-1-9 降圧剤使用患者における血圧コントロール

$$\text{血圧コントロール患者数} = \frac{C(\text{血圧が目標値以下の患者数})}{B(\text{降圧剤が処方されている患者数})} \times 100$$

平成30年度	降圧剤が処方されている患者数(人)	血圧が目標値以下の患者数(人)	降圧剤使用患者における血圧コントロール率
平成30年4月	11	11	100%
平成30年5月	13	13	100%
平成30年6月	21	20	95%
平成30年7月	25	24	96%
平成30年8月	26	26	100%
平成30年9月	26	25	96%
平成30年10月	26	26	100%
平成30年11月	31	31	100%
平成30年12月	31	31	100%
平成31年1月	31	31	100%
平成31年2月	29	29	100%
平成31年3月	25	24	96%
合計/平均	295	291	99%



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

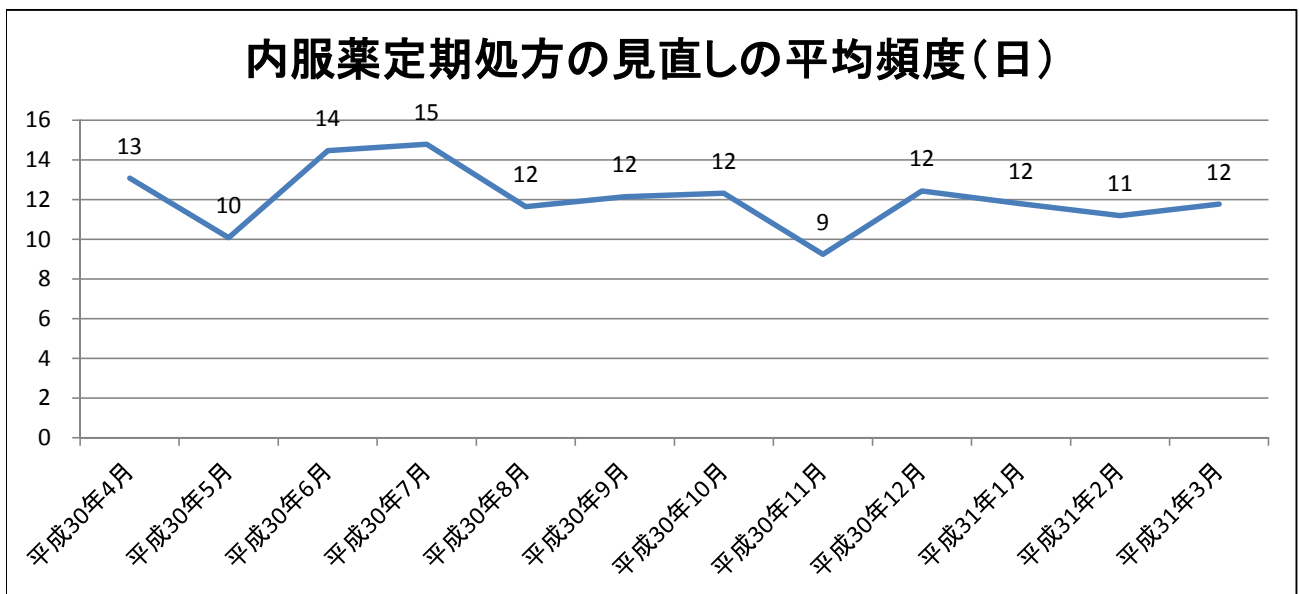
- 【注】
1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
 2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
 3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-2-1 内服薬定期処方の見直しの平均頻度

1ヶ月間の患者1人あたり処方箋枚数 = C(1カ月間の内服定期薬処方箋枚数) / B(内服定期薬投与患者数)

見直しの頻度(日) = D(1カ月の日数(日)) / E(1ヶ月の患者1人あたり処方箋枚数)

平成30年度	内服定期薬投与患者数(人)	1カ月間の内服定期薬処方箋枚数(枚)	一カ月の日数(日)	1ヶ月間の患者1人あたり処方箋枚数(枚)	内服薬定期処方見直しの平均頻度(日)
平成30年4月	78	179	30	2	13
平成30年5月	82	252	31	3	10
平成30年6月	82	170	30	2	14
平成30年7月	83	174	31	2	15
平成30年8月	77	205	31	3	12
平成30年9月	81	200	30	2	12
平成30年10月	87	219	31	3	12
平成30年11月	93	302	30	3	9
平成30年12月	83	207	31	2	12
平成31年1月	78	205	31	3	12
平成31年2月	78	195	28	3	11
平成31年3月	71	187	31	3	12
合計/平均	973	2495	365	31	12



日本慢性期医療協会

慢性期医療の Clinical Indicator (病棟臨床指標)

【注】

1. 評価期間中に退院(転棟、死亡含む)した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0(ゼロ)」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-2-2

注射薬処方の見直しの平均頻度

1週間の患者1人あたり処方箋枚数 = C(1週間の注射薬処方箋枚数) / B(注射薬投与患者数)

見直しの頻度(日) = D(1週間の日数(日)) / E(1週間の患者1人あたり処方箋枚数)

平成30年度	注射薬投与患者数(人)	1週間の注射薬処方箋枚数(枚)	一週間の日数(日)	1週間の患者1人あたり処方箋枚数(枚)	注射薬処方の見直しの平均頻度(日)
1週間	18	38	7	2	3

日本慢性期医療協会

慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-2-3

内服定期薬の平均処方薬剤数

内服定期薬の平均処方薬剤数 = C (1週間の内服定期薬の投与薬剤数合計)
/ B (1週間の内服定期投与延べ患者数)

平成30年度	1週間の内服定期投与延べ患者数(人)	1週間の内服定期薬の投与薬剤数合計(剤)	内服定期薬の平均処方薬剤数(剤)
1週間	602	2430	4.037

日本慢性期医療協会

慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

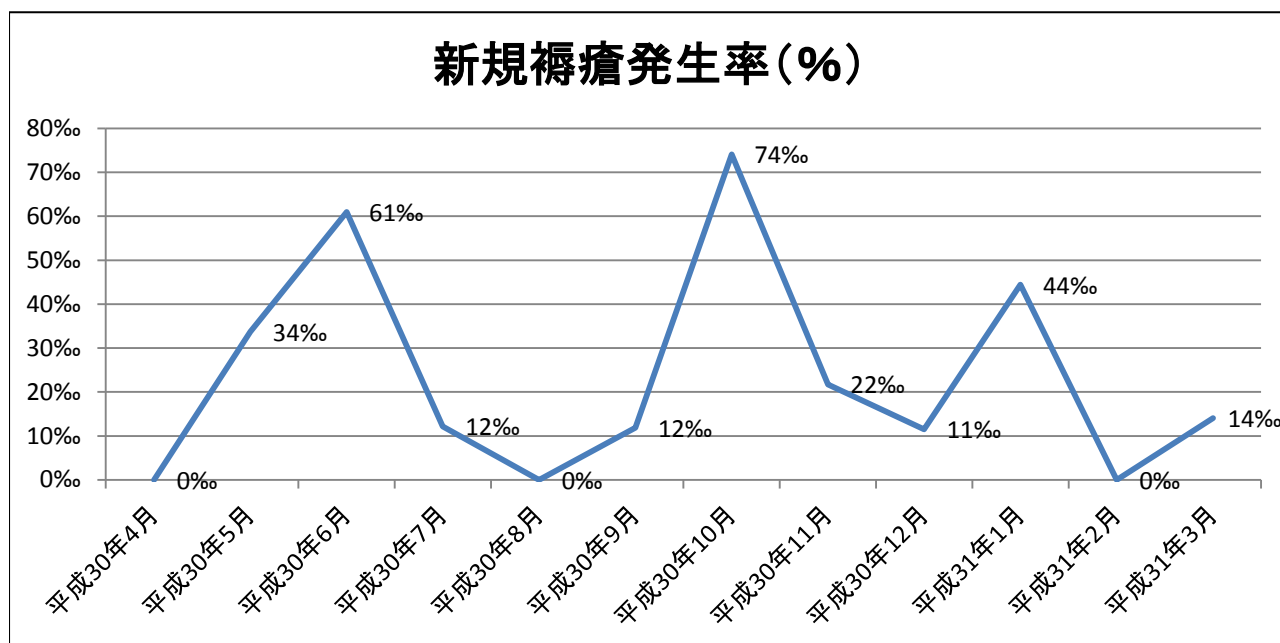
【注】

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-3-4 新規褥瘡発生率

新規褥瘡発生率 = C(分母のうち、d2以上の褥瘡の院内新規発生患者数) / B(入院延べ患者数) × 100

平成30年度	調査月の新入院患者数+ 当月1日現在患者数	分母のうち、d2以上の褥瘡の院内新規発生患者数(人)	新規褥瘡発生率(%)
平成30年4月	88	0	0‰
平成30年5月	89	3	34‰
平成30年6月	82	5	61‰
平成30年7月	82	1	12‰
平成30年8月	84	0	0‰
平成30年9月	84	1	12‰
平成30年10月	81	6	74‰
平成30年11月	92	2	22‰
平成30年12月	87	1	11‰
平成31年1月	90	4	44‰
平成31年2月	72	0	0‰
平成31年3月	71	1	14‰
合計/平均	1002	24	24‰



日本慢性期医療協会

慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

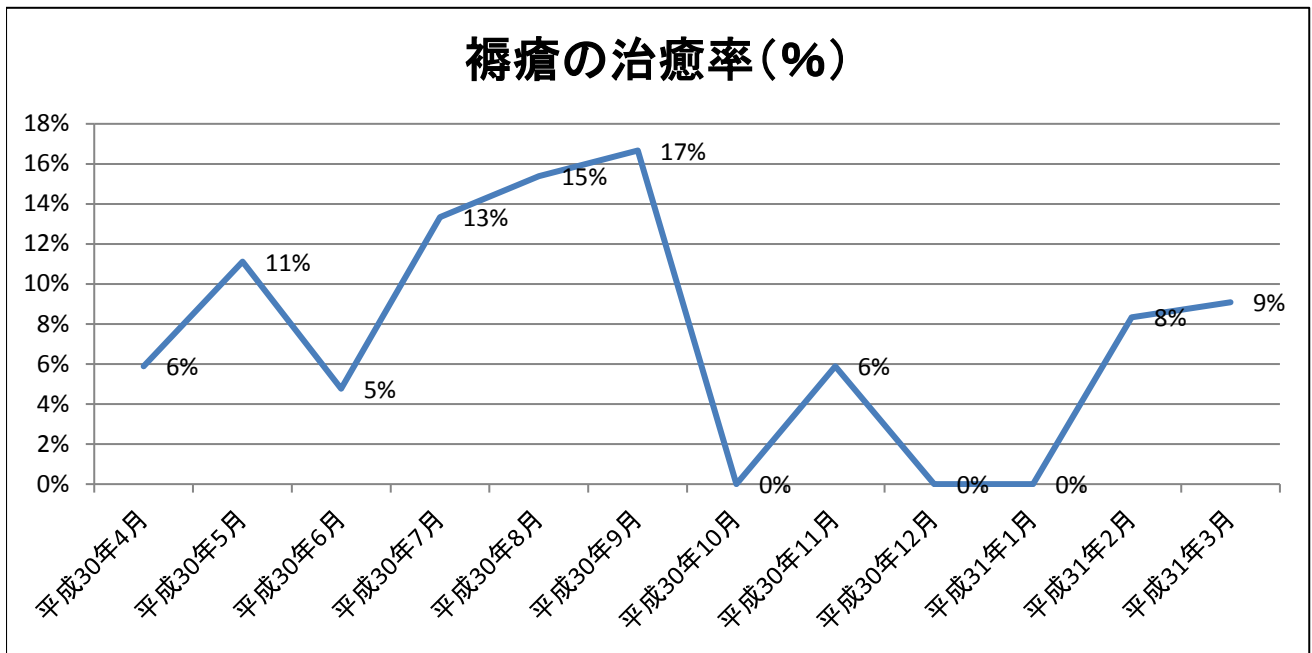
1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-3-5

褥瘡の治癒率（治療後6カ月以内）

褥瘡の治癒率 = C（治癒患者数）/ B（全褥瘡患者数） × 100

平成30年度	全褥瘡患者数(人)	治癒患者数(人)	褥瘡の治癒率(%)
平成30年4月	17	1	6%
平成30年5月	18	2	11%
平成30年6月	21	1	5%
平成30年7月	15	2	13%
平成30年8月	13	2	15%
平成30年9月	12	2	17%
平成30年10月	14	0	0%
平成30年11月	17	1	6%
平成30年12月	15	0	0%
平成31年1月	13	0	0%
平成31年2月	12	1	8%
平成31年3月	11	1	9%
合計/平均	178	13	7%



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

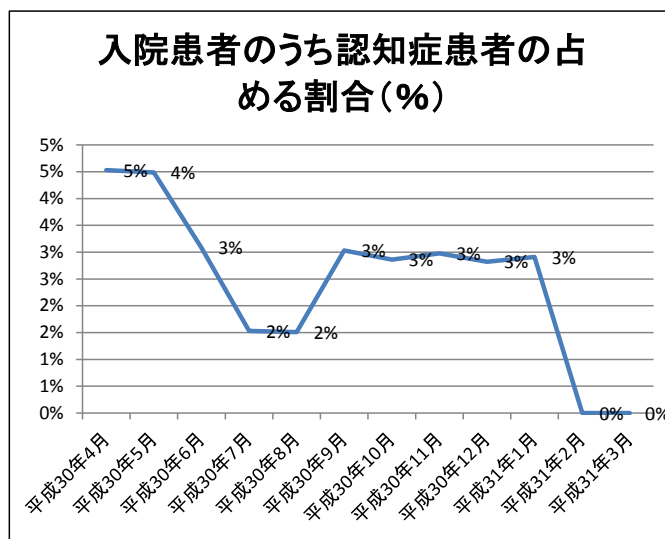
【注】

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-3-8 認知症患者への対応

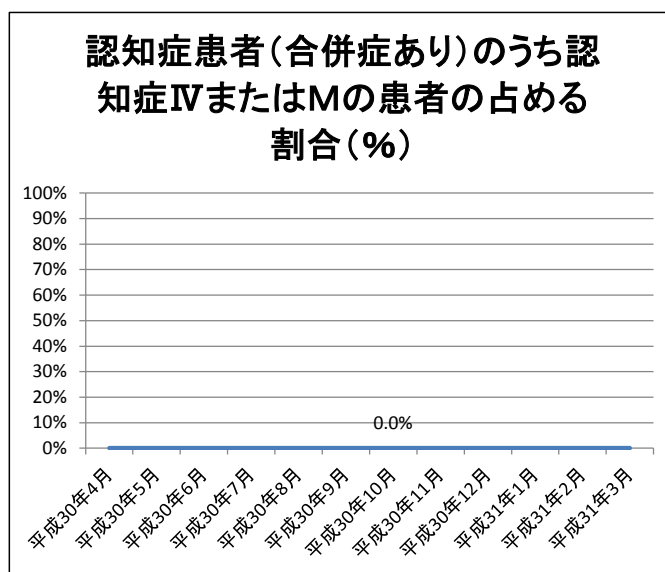
認知症高齢者の日常生活自立度IVまたはMの患者の占める割合＝C（認知症IVまたはMの患者数）/B（平均入院患者数）×100

平成30年度	平均入院患者数（人）（医療）	認知症IVまたはMの患者数（人）	入院患者のうち認知症患者の占める割合
平成30年4月	66	3	5%
平成30年5月	67	3	4%
平成30年6月	65	2	3%
平成30年7月	65	1	2%
平成30年8月	66	1	2%
平成30年9月	66	2	3%
平成30年10月	70	2	3%
平成30年11月	67	2	3%
平成30年12月	71	2	3%
平成31年1月	69	2	3%
平成31年2月	55	0	0%
平成31年3月	58	0	0%
合計/平均	785	20	3%



重症認知症患者の身体合併症（肺炎・尿路感染症・褥瘡・脱水など）に対する治療が自院で可能である＝C（分母の中での認知症IVまたはMの患者数）/B（認知症の身体合併症治療目的の新規入院患者数）×100

平成30年度	認知症の身体合併症治療目的の新規入院患者数（人）（医療）	分母の中での認知症IVまたはMの患者数（人）	認知症患者（合併症あり）のうち認知症IVまたはMの患者の占める割合
平成30年4月	2	0	0%
平成30年5月	2	0	0%
平成30年6月	0	0	-
平成30年7月	0	0	-
平成30年8月	1	0	0%
平成30年9月	0	0	-
平成30年10月	0	0	-
平成30年11月	0	0	-
平成30年12月	1	0	0%
平成31年1月	0	0	-
平成31年2月	0	0	-
平成31年3月	0	0	-
合計/平均	6	0	0%



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

領域4【リハビリテーション】

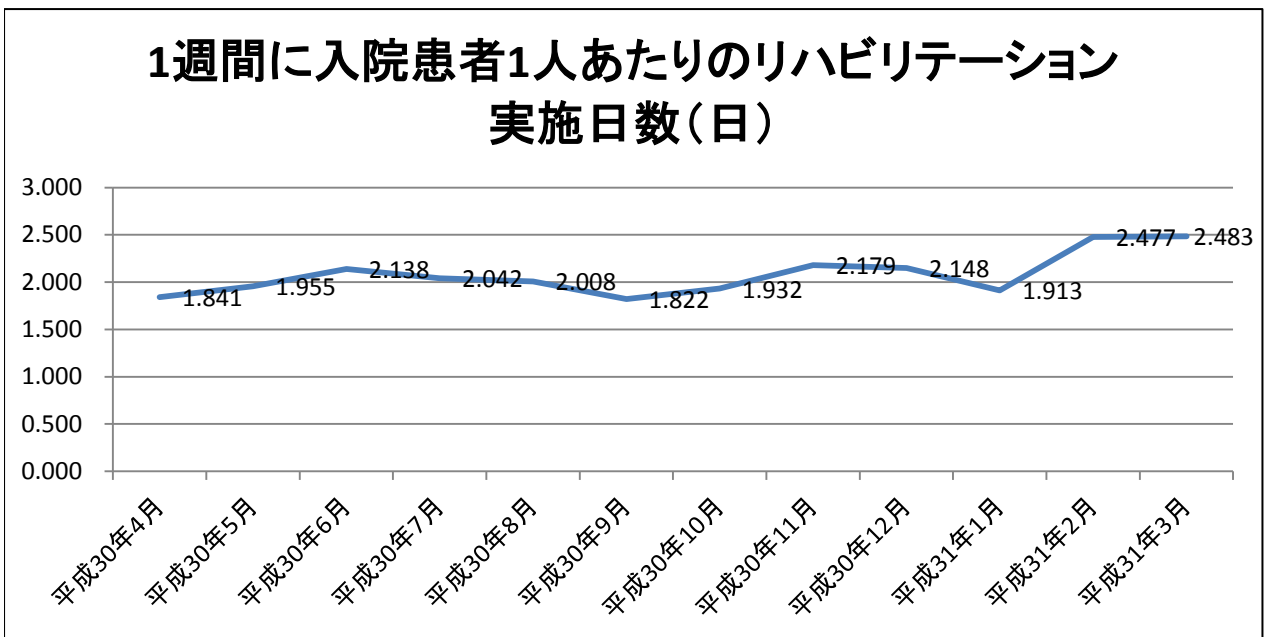
- 【注】**1. 評価基準は、回復期リハビリテーション病棟とその他の病棟では異なる。
 （ ）内の数字は回復期リハビリテーションにおける基準である。
 2. 評価は直近で調査できる月とする。

2-4-1

休日を含め適切な頻度でリハビリテーションが提供されているか

$$\text{リハビリテーション平均実施率} = \frac{C(\text{実施対象者における個別療法実施延べ日数})}{B(\text{1日あたりの平均入院患者数}) \div 4}$$

平成30年度	1日あたりの平均入院患者数(人)	実施対象者における個別療法実施延べ日数(日)	1週間に入院患者1人あたりのリハビリテーション実施日数(日)
平成30年4月	66	486	1.841
平成30年5月	67	524	1.955
平成30年6月	65	556	2.138
平成30年7月	65	531	2.042
平成30年8月	66	530	2.008
平成30年9月	66	481	1.822
平成30年10月	70	541	1.932
平成30年11月	67	584	2.179
平成30年12月	71	610	2.148
平成31年1月	69	528	1.913
平成31年2月	55	545	2.477
平成31年3月	58	576	2.483
合計/平均	785	6492	2.068



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

領域4【リハビリテーション】

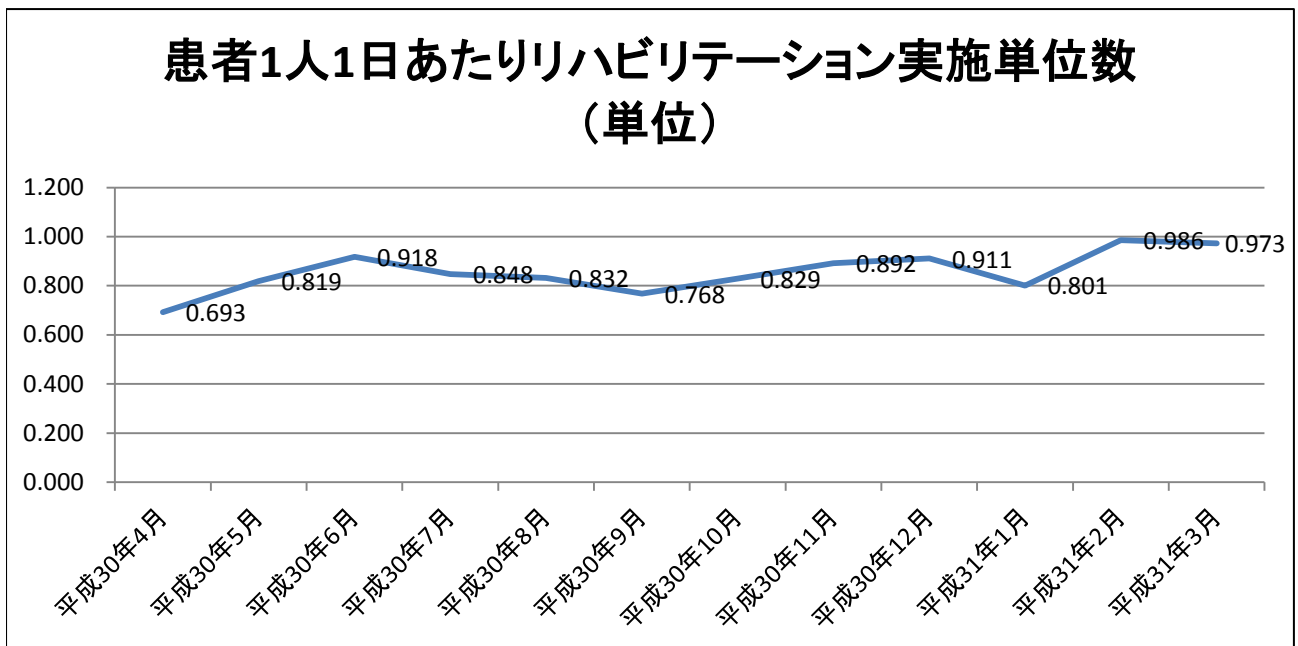
- 【注】**1. 評価基準は、回復期リハビリテーション病棟とその他の病棟では異なる。
（ ）内の数字は回復期リハビリテーションにおける基準である。
2. 評価は直近で調査できる月とする。

2-4-2

十分な時間のリハビリテーションが提供されているか

患者1人1日あたりリハビリテーション実施単位数 = D (測定月の実施総単位数) / C (延べ入院患者数)

平成30年度	延べ入院患者数(人)(医療)	測定月の実施総単位数(単位)	患者1人1日あたりリハビリテーション実施単位数(単位)
平成30年4月	2060	1427	0.693
平成30年5月	2083	1705	0.819
平成30年6月	2014	1849	0.918
平成30年7月	2033	1724	0.848
平成30年8月	2061	1715	0.832
平成30年9月	2052	1576	0.768
平成30年10月	2170	1800	0.829
平成30年11月	2088	1862	0.892
平成30年12月	2206	2009	0.911
平成31年1月	2142	1716	0.801
平成31年2月	1719	1695	0.986
平成31年3月	1796	1747	0.973
合計/平均	24424	20825	0.853



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

領域4【リハビリテーション】

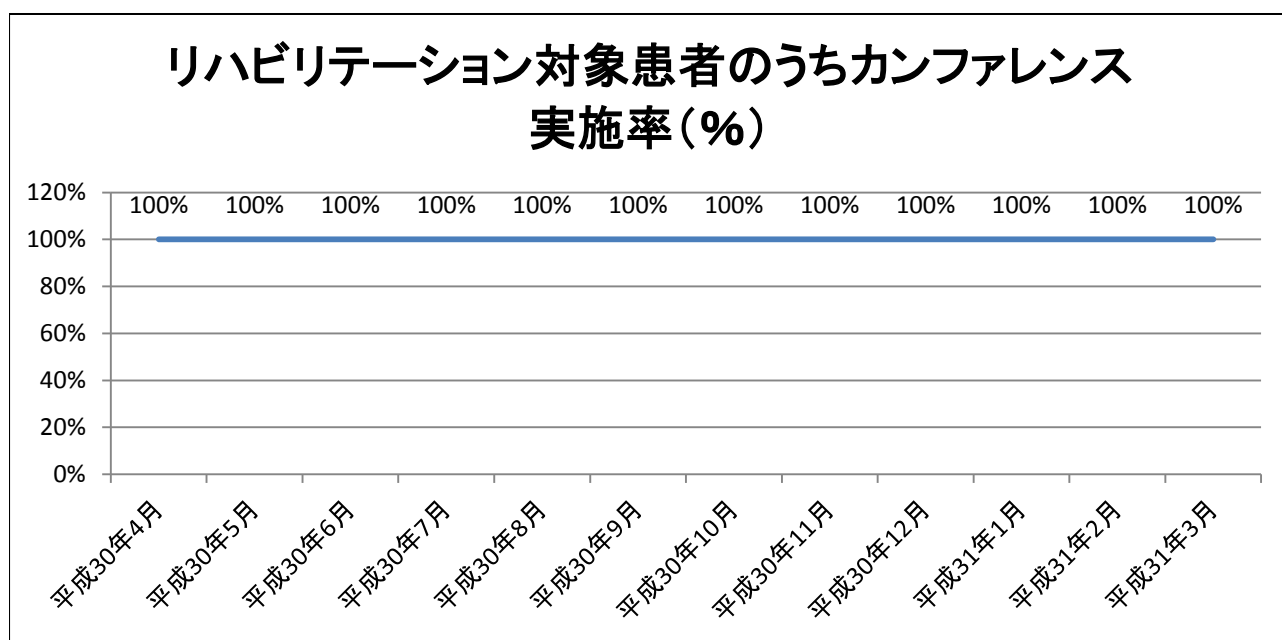
- 【注】**1. 評価基準は、回復期リハビリテーション病棟とその他の病棟では異なる。
（ ）内の数字は回復期リハビリテーションにおける基準である。
2. 評価は直近で調査できる月とする。

2-4-3

多職種（リハビリ以外の職種も含めて）によるカンファレンス等にて、 リハビリテーションの内容、頻度が検討されているか

カンファレンス実施率 = C(カンファレンス実施患者数) / B(対象患者数) × 100

平成30年度	リハビリ対象患者数(人)	カンファレンス実施患者数(人)	リハビリテーション対象患者のうちカンファレンス実施率(%)
平成30年4月	66	66	100%
平成30年5月	65	65	100%
平成30年6月	60	60	100%
平成30年7月	61	61	100%
平成30年8月	64	64	100%
平成30年9月	65	65	100%
平成30年10月	68	68	100%
平成30年11月	65	65	100%
平成30年12月	65	65	100%
平成31年1月	62	62	100%
平成31年2月	59	59	100%
平成31年3月	55	55	100%
合計/平均	755	755	100%



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

領域4【リハビリテーション】

- 【注】**1. 評価基準は、回復期リハビリテーション病棟とその他の病棟では異なる。
（ ）内の数字は回復期リハビリテーションにおける基準である。
2. 評価は直近で調査できる月とする。

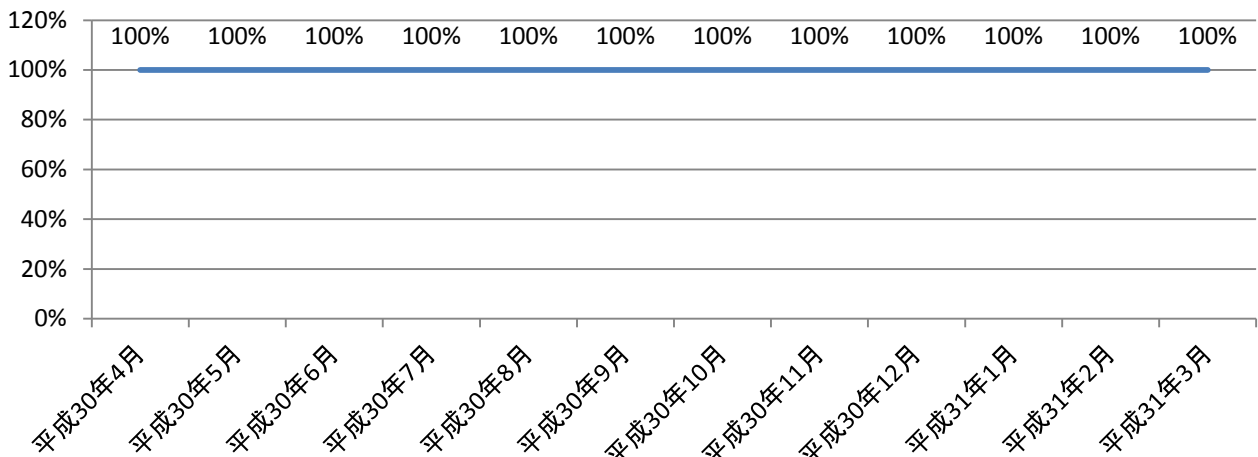
2-4-4

FIM and/or BI等の客観的指標で患者のADL状態が把握されているか

$$\text{FIM and/or B等患者のADL把握率} = \frac{\text{C(1回以上の評価がされている患者数)}}{\text{B(対象患者数)}} \times 100$$

平成30年度	リハビリ対象患者数(人)	1回以上の評価がされている患者数(人)	リハビリテーション対象患者のうち FIMand/orBI等ADL把握率(%)
平成30年4月	66	66	100%
平成30年5月	65	65	100%
平成30年6月	60	60	100%
平成30年7月	61	61	100%
平成30年8月	64	64	100%
平成30年9月	65	65	100%
平成30年10月	68	68	100%
平成30年11月	65	65	100%
平成30年12月	65	65	100%
平成31年1月	62	62	100%
平成31年2月	59	59	100%
平成31年3月	55	55	100%
合計/平均	755	755	100%

リハビリテーション対象患者のうち FIMand/orBI等ADL把握率(%)



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

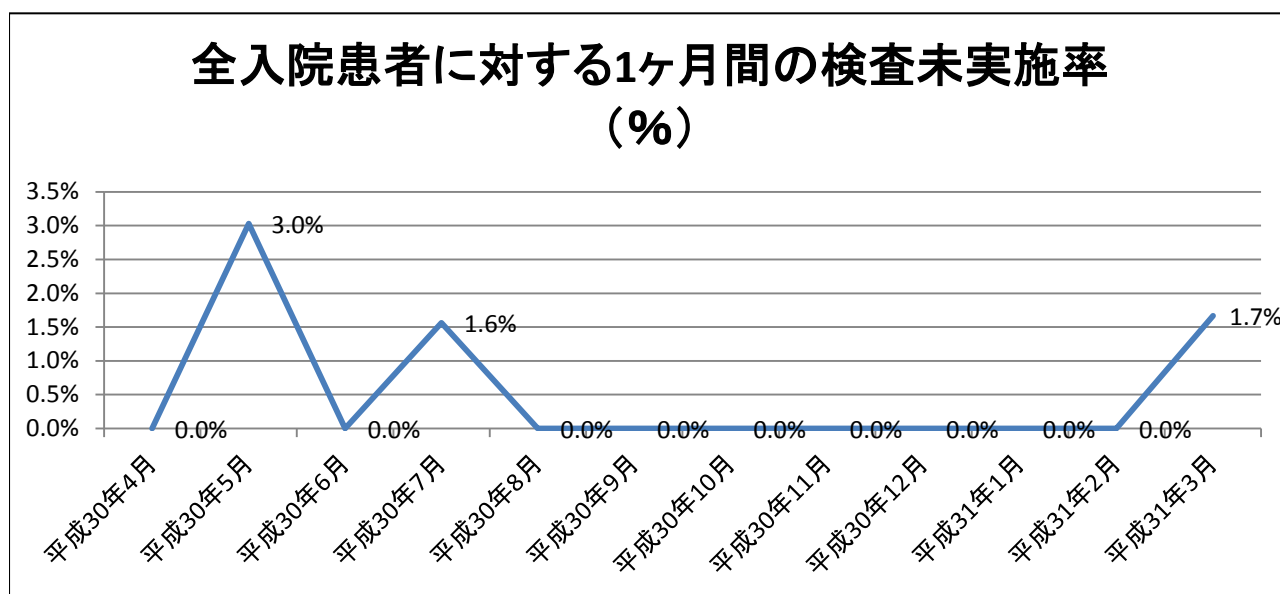
1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-5-2

全入院患者に対する1ヶ月間の検査未実施率

検査未実施率 = C (1ヶ月間に血液検査、尿検査、X-P等のいずれも施行されなかった患者総数) / B (月末の入院患者数) × 100

平成30年度	月末の入院患者数(人)	1ヶ月間に血液検査、尿検査、X-P等のいずれも施行されなかった患者総数(人)	全入院患者に対する1ヶ月間の検査未実施率(%)
平成30年4月	69	0	0.0%
平成30年5月	66	2	3.0%
平成30年6月	69	0	0.0%
平成30年7月	64	1	1.6%
平成30年8月	68	0	0.0%
平成30年9月	68	0	0.0%
平成30年10月	70	0	0.0%
平成30年11月	66	0	0.0%
平成30年12月	72	0	0.0%
平成31年1月	64	0	0.0%
平成31年2月	57	0	0.0%
平成31年3月	60	1	1.7%
合計/平均	793	4	0.5%



(前月「月末在院患者数」)+{当月「新入院患者数」+「同一医療機関内の他の種別の病床から移された患者数」
- {当月「退院患者数」+「同一医療機関内の他の種別の病床へ移された患者数」}
= (当月「月末在院患者数」)

日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

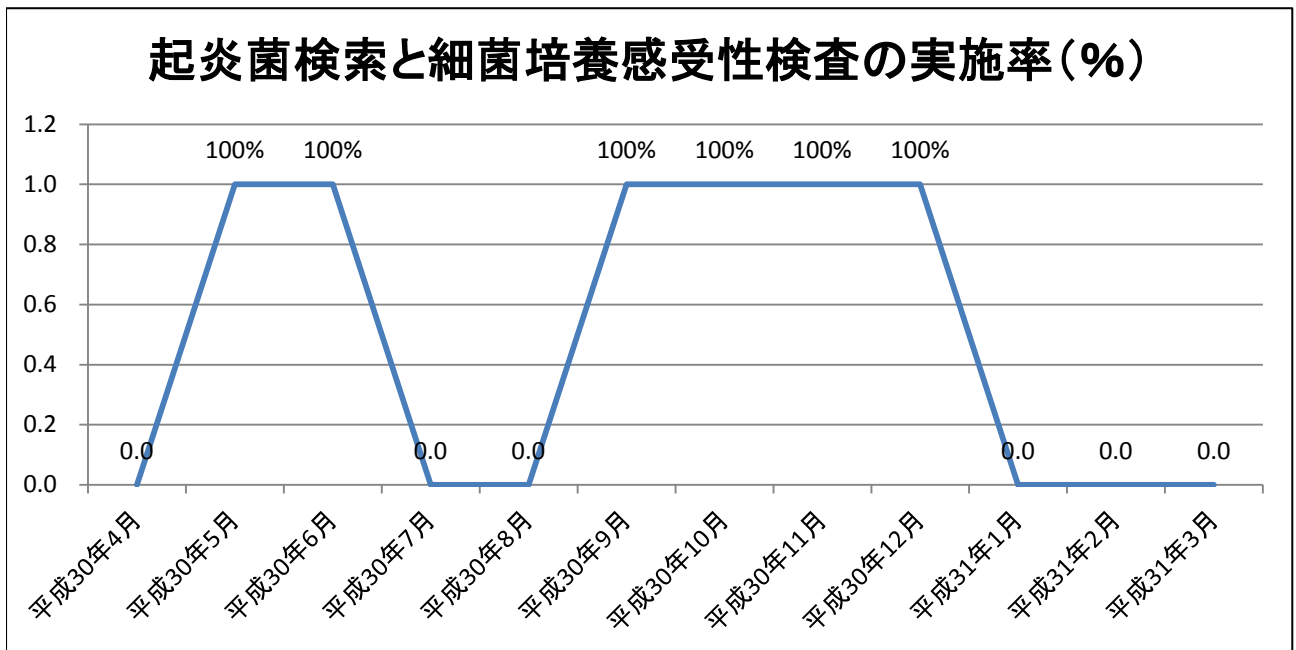
1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-5-3

起炎菌検索と細菌培養感受性検査の実施率

細菌培養感受性検査等実施率 = C(起炎菌検索および細菌培養感受性検査の実施件数) / B(新規罹患感染症数) × 100

平成30年度	新規罹患感染症数(人)	起炎菌検索および細菌培養感受性検査の実施件数(件)	起炎菌検索と細菌培養感受性検査の実施率(%)
平成30年4月	0	0	-
平成30年5月	4	4	100%
平成30年6月	2	2	100%
平成30年7月	0	0	-
平成30年8月	0	0	-
平成30年9月	1	1	100%
平成30年10月	3	3	100%
平成30年11月	3	3	100%
平成30年12月	2	2	100%
平成31年1月	0	0	-
平成31年2月	0	0	-
平成31年3月	0	0	-
合計/平均	15	15	100%



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

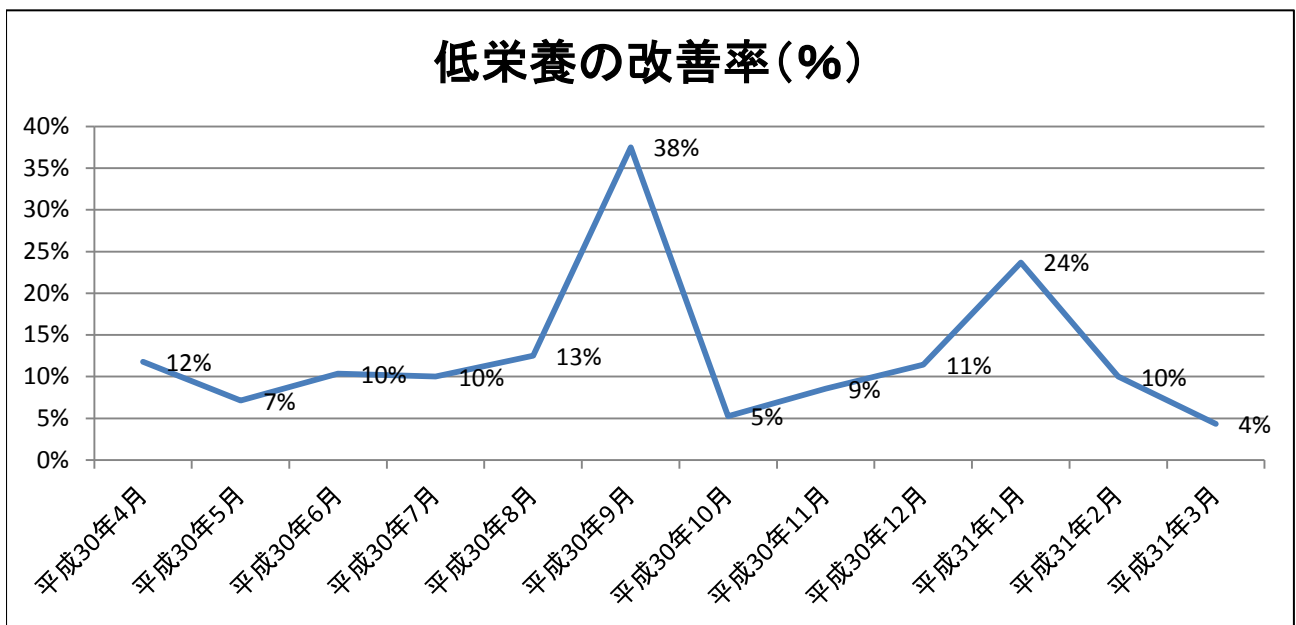
【注】

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-6-5 低栄養の改善率

低栄養改善率 = C (2ヶ月以内にアルブミン値が3.0g/dl未満から3.0g/dl以上になった患者数) / B (起点日のアルブミン値が3.0g/dl未満の患者数) × 100

平成30年度	起点日のアルブミン値が3.0g/dl未満の患者数 (人)	2ヶ月以内にアルブミン値が3.0g/dl未満から3.0g/dl以上になった患者数	低栄養の改善率 (%)
平成30年4月	17	2	12%
平成30年5月	28	2	7%
平成30年6月	29	3	10%
平成30年7月	30	3	10%
平成30年8月	24	3	13%
平成30年9月	24	9	38%
平成30年10月	19	1	5%
平成30年11月	35	3	9%
平成30年12月	35	4	11%
平成31年1月	38	9	24%
平成31年2月	20	2	10%
平成31年3月	23	1	4%
合計/平均	322	42	13%



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-6-6

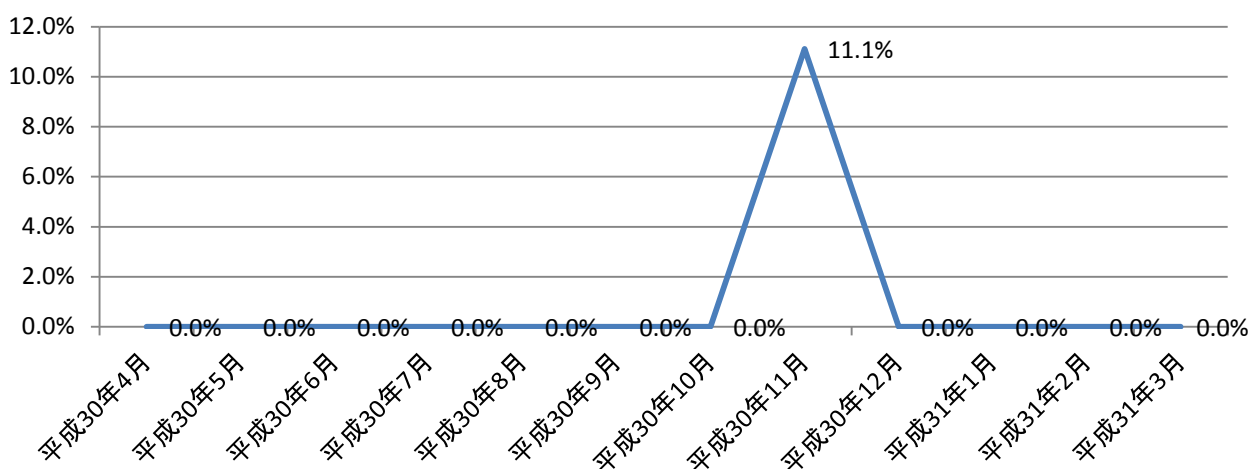
1年以内に経管栄養（中心静脈・胃ろう・経鼻）から 経口摂取可能になった患者の割合

1年以内に経管栄養から経口摂取可能になった患者の割合

$$= C(1年以内に完全に経口摂取可能となった患者数) / B(経管栄養患者数) \times 100$$

平成30年度	経管栄養患者数(人)	1年以内に完全に経口摂取可能となった患者数(人)	1年以内に経管栄養から経口摂取可能になった患者の割合(%)
平成30年4月	9	0	0.0%
平成30年5月	8	0	0.0%
平成30年6月	8	0	0.0%
平成30年7月	7	0	0.0%
平成30年8月	8	0	0.0%
平成30年9月	9	0	0.0%
平成30年10月	10	0	0.0%
平成30年11月	9	1	11.1%
平成30年12月	13	0	0.0%
平成31年1月	10	0	0.0%
平成31年2月	10	0	0.0%
平成31年3月	10	0	0.0%
合計/平均	111	1	0.9%

1年以内に経管栄養から経口摂取可能になった 患者の割合(%)



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

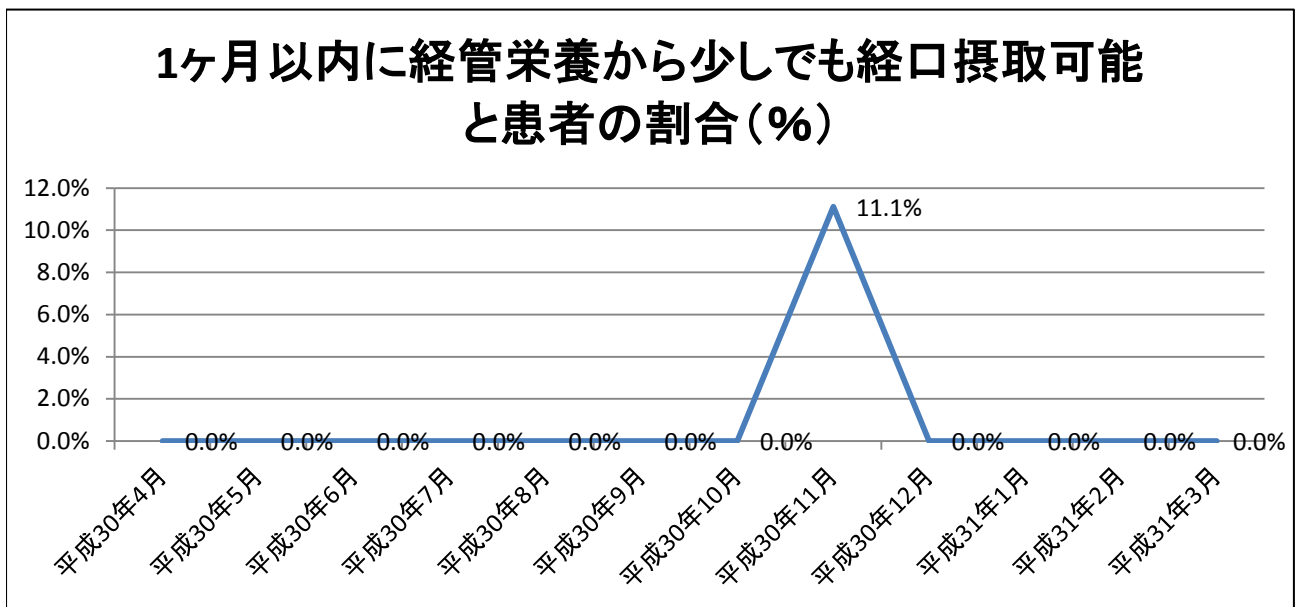
1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-6-7

1ヶ月以内に経管栄養（中心静脈栄養・胃ろう・経鼻）から少しでも経口摂取が可能となった患者の割合（1口でも可）

C(1ヶ月以内に少しでも経口摂取可能となった患者数)/B(経管栄養患者数)×100

平成30年度	経管栄養患者数(人)	1ヶ月以内に少しでも経口摂取可能となった患者数(人)	1ヶ月以内に経管栄養から少しでも経口摂取可能と患者の割合(%)
平成30年4月	9	0	0.0%
平成30年5月	8	0	0.0%
平成30年6月	8	0	0.0%
平成30年7月	7	0	0.0%
平成30年8月	8	0	0.0%
平成30年9月	9	0	0.0%
平成30年10月	10	0	0.0%
平成30年11月	9	1	11.1%
平成30年12月	13	0	0.0%
平成31年1月	10	0	0.0%
平成31年2月	10	0	0.0%
平成31年3月	10	0	0.0%
合計/平均	111	1	0.9%



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-7-1

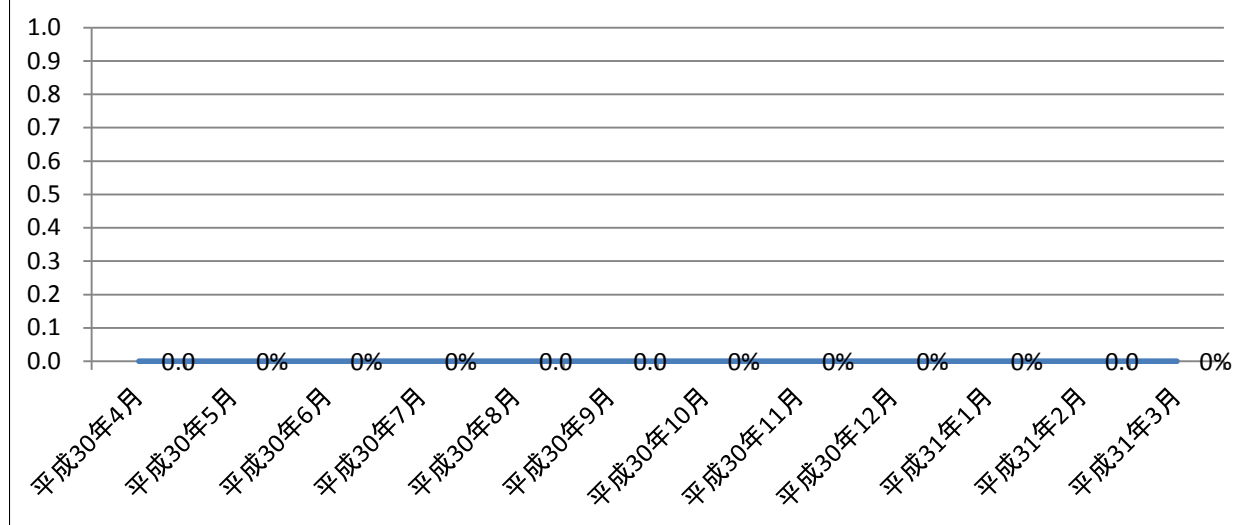
転倒・転落などによる重症事故（下記の定義）の発生率

重症事故発生率＝C（転倒または転落などによる重症事故の1カ月間の患者数）

/B（転倒または転落の1ヶ月間の患者数）×100

平成30年度	転倒または転落の1ヶ月間の患者数(人)	転倒または転落などによる重症事故の1ヶ月間の患者数(人)	転倒・転落などによる重症事故発生率(%)
平成30年4月	0	0	-
平成30年5月	5	0	0%
平成30年6月	1	0	0%
平成30年7月	2	0	0%
平成30年8月	0	0	-
平成30年9月	0	0	-
平成30年10月	4	0	0%
平成30年11月	7	0	0%
平成30年12月	3	0	0%
平成31年1月	2	0	0%
平成31年2月	0	0	-
平成31年3月	1	0	0%
合計/平均	25	0	0%

転倒・転落などによる重症事故発生率(%)



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

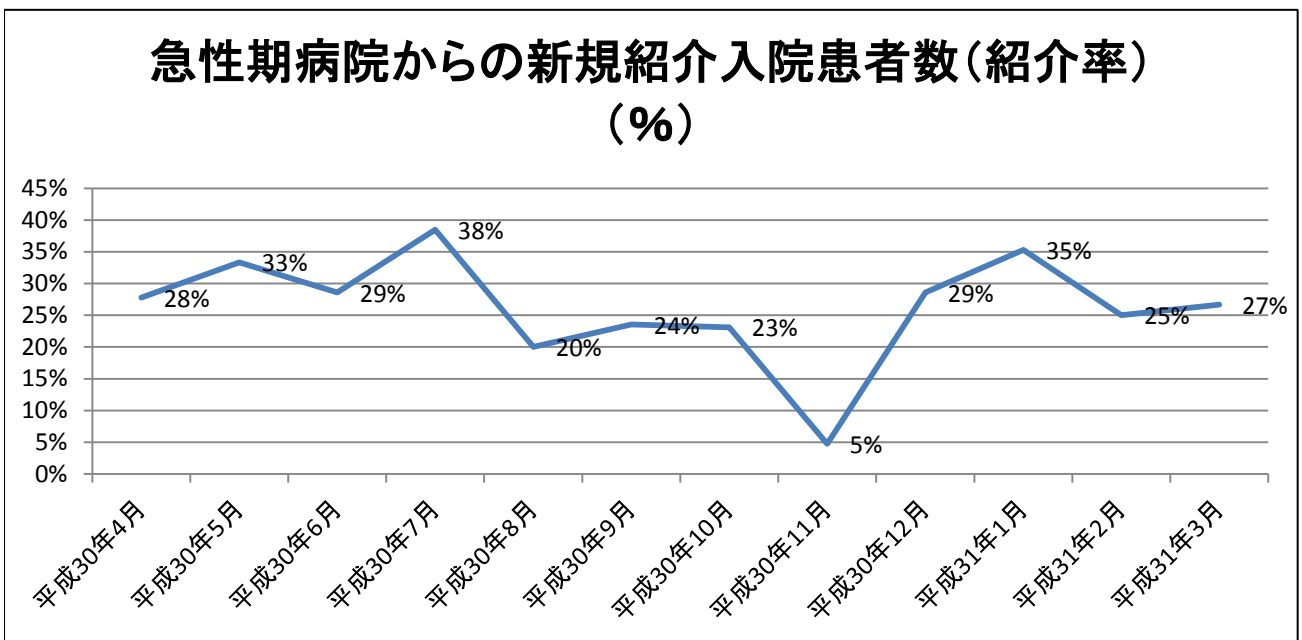
1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-10-1

入院患者のうち急性期病院からの新規紹介入院患者数（紹介率）

新規紹介入院患者率 = C（急性期病院からの紹介入院患者数）/ B（全新規入院患者数） × 100

平成30年度	全新規入院患者数(人)	急性期病院からの紹介入院患者数(人)	急性期病院からの新規紹介入院患者数(紹介率)(%)
平成30年4月	18	5	28%
平成30年5月	21	7	33%
平成30年6月	14	4	29%
平成30年7月	13	5	38%
平成30年8月	20	4	20%
平成30年9月	17	4	24%
平成30年10月	13	3	23%
平成30年11月	21	1	5%
平成30年12月	21	6	29%
平成31年1月	17	6	35%
平成31年2月	8	2	25%
平成31年3月	15	4	27%
合計/平均	198	51	26%



日本慢性期医療協会

慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

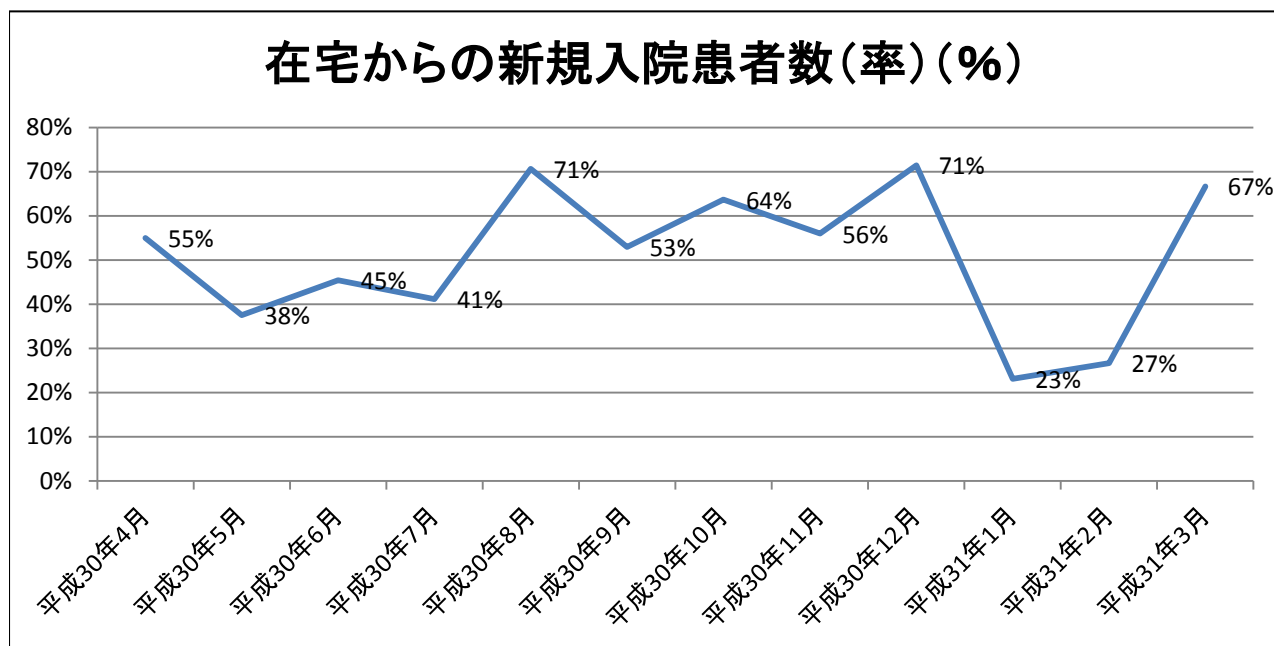
1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-10-2

在宅からの新規入院患者数（居住系施設等を含む）

在宅からの新規入院患者数 = C（在宅からの新規入院患者数）/ B（全新規入院患者数）× 100

平成30年度	全新規入院患者数(人) (医療)	在宅からの新規入院患者数(人)	在宅からの新規入院患者数(率)(%)
平成30年4月	20	11	55%
平成30年5月	24	9	38%
平成30年6月	11	5	45%
平成30年7月	17	7	41%
平成30年8月	17	12	71%
平成30年9月	17	9	53%
平成30年10月	11	7	64%
平成30年11月	25	14	56%
平成30年12月	14	10	71%
平成31年1月	26	6	23%
平成31年2月	15	4	27%
平成31年3月	12	8	67%
合計/平均	209	102	49%



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

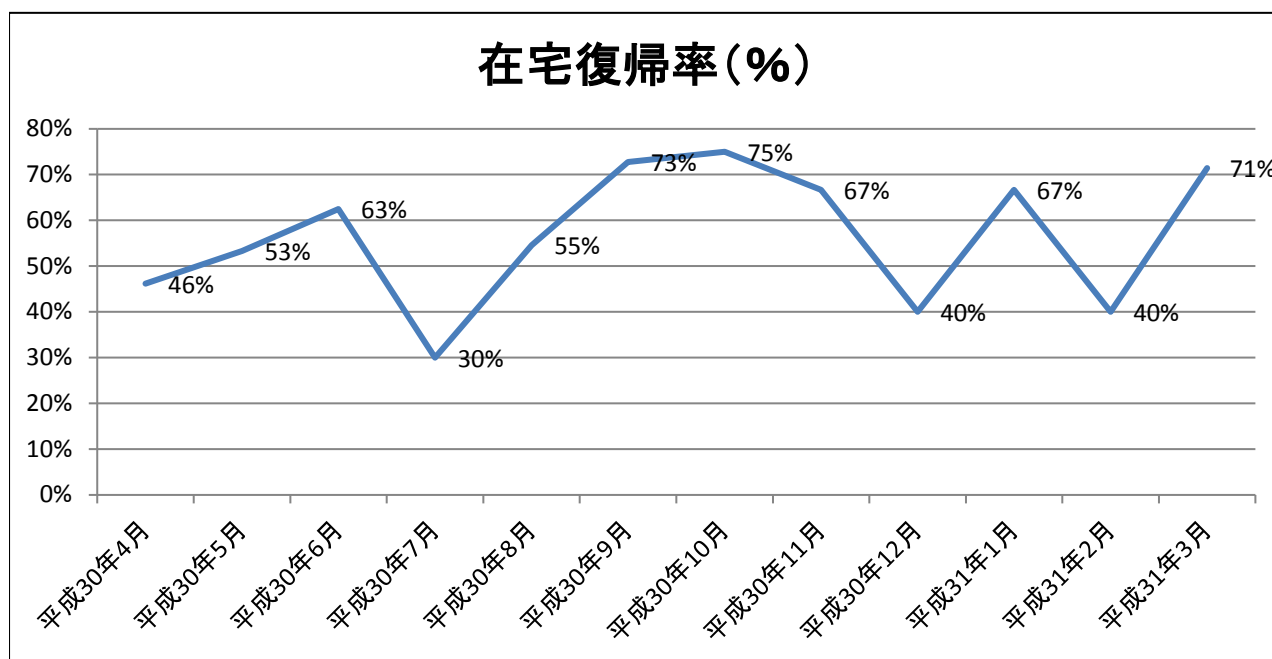
1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-10-3

在宅復帰率（居住系施設等を含む）

在宅復帰率 = C（在宅退院患者数）/ B（全退院患者数（死亡退院を除く）） × 100

平成30年度	全退院患者数（人） （医療）	在宅退院患者数（人）	在宅復帰率（%）
平成30年4月	13	6	46%
平成30年5月	15	8	53%
平成30年6月	8	5	63%
平成30年7月	10	3	30%
平成30年8月	11	6	55%
平成30年9月	11	8	73%
平成30年10月	8	6	75%
平成30年11月	18	12	67%
平成30年12月	5	2	40%
平成31年1月	15	10	67%
平成31年2月	10	4	40%
平成31年3月	7	5	71%
合計/平均	131	75	57%



日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

【注】

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

2-10-4

多職種による退院カンファレンスを実施しているか

カンファ実施率 = C(5職種以上の退院カンファレンスを実施した患者数) / B(全退院患者数) × 100

平成30年度	全退院患者数(人)	カンファ実施患者数(人)	多職種カンファ実施率(%)
平成30年4月	20	2	10%
平成30年5月	24	2	8%
平成30年6月	11	4	36%
平成30年7月	17	1	6%
平成30年8月	17	2	12%
平成30年9月	17	0	0%
平成30年10月	11	1	9%
平成30年11月	25	2	8%
平成30年12月	14	0	0%
平成31年1月	26	1	4%
平成31年2月	15	0	0%
平成31年3月	12	2	17%
合計/平均	209	17	8%

